

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (1~15)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
1	静岡県立浜松湖南高等学校	しんむら さくや 新村 咲弥	ステージの光へ進む君が持つ金の楽器がただ眩しくて
2	会津若松ザベリオ学園高等学校	あくつ みゆう 阿久津 美優	あと少し一緒にいたい気持ちだけホームに残し乗る在来線
3	神戸市立神港橋高等学校	たかみ みゆう 高見 美優	青春は甘酸っぱいと言うけれど辛い辛いも青春の味
4	大阪府立いちりつ高等学校	やまうち あおい 山内 葵	ネガティブで自己肯定感低いけどそんな自分を好きになりたい
5	大阪府立いちりつ高等学校	たけなわ ゆうと 竹縄 優和	夏まつり男同士で盛り上がる本音はみんな彼女と来たい
6	大阪府立いちりつ高等学校	かさはら だい 笠原 大	うと そうそう 烏兔匆匆どういう意味か調べようとスマホを触って気づけば夜に
7	大阪府立いちりつ高等学校	すみかわ かな 澄川 佳奈	マスクなし思ってたんとちょっと違う勝手に期待して勝手に落ち込む
8	大阪府立富田林高等学校	おしたに みゆ 押谷 心優	我一人真顔でくぐった校門を今では友と笑顔でくぐる
9	大阪府立富田林高等学校	わたなべ ことね 渡邊 琴音	下校中空を見上げて写真撮る同じ空はまだ一つもない
10	大阪府立富田林高等学校	たけもと そう き 竹元 颯希	考査前教科書開くが分からない集合Aは空集合だ <small>あたまのなか</small>
11	大阪府立富田林高等学校	なおき みなと 直木 湊	終わりたくないよと夏が叫んでる気がして僕は夜を徹する
12	徳島県立城東高等学校	はやし はな 林 はな	すきだとかおはようだとか妄想で頭にあるのは画面の吹き出し
13	徳島県立城東高等学校	ささだ こはね 笹田 小羽音	君を知る痛みは僕に大切な傷を刻んで残すだろう
14	大阪府立布施高等学校	なかしま ゆい 中島 唯	あの頃はけんかしてても会っていた今は会うのに理由がいる
15	大阪府立布施高等学校	はだ けんしん 羽田 健真	プレゼント年取る度が変わってく嬉しいものは物より意味

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (16～30)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
16	関西大倉高等学校	^{ますい} 増井 ^{みさと} 美郷	気まぐれな楽器の機嫌取るために部屋の温度に敏感になる
17	星野高等学校	^{かねみつ} 金光 ^{まい} 舞	夕方の雨に理由があるらしい積もる君との恋のテトリス
18	山口県立柳井商工高等学校	^{えんどう} 遠藤 ゆかり	白い息たすきがゆれるこの行事辛い辛いと心が叫ぶ
19	明浄学院高等学校	^{のぢ} 野地 ^{あゆみ} 彩友美	あこがれのセーラー服着てふみだした足元ひらり桜が舞った
20	松商学園高等学校	^{やなぎさわ} 柳澤 ^{うた} 雅楽	集合の合図とともに走り出すやる気に満ちた仲間の背中
21	松商学園高等学校	^{ふじい} 藤井 ^{ゆき} 優采	金魚すくいが得意だった君にまだ飼われたままの私のころ
22	松商学園高等学校	^{たなか} 田中 ^{ゆうた} 悠太	記憶には留めきれないあの夏をスマホの中で思い出してる
23	初芝富田林高等学校	^{やまもと} 山本 ^{ゆう} 有花	夏休み目覚ましなしで起きたとき幸せ感じる午後二時半
24	初芝富田林高等学校	^{もりさき} 森崎 ^{かなで} 奏	新しい暗記シートの静電気いまあたらしい春がはじまる
25	大阪府立泉北高等学校	^{はやみ} 速水 ^さ 沙 ^な 夏	一ページまた一ページとめくられる気付かぬうちに読み終えた物語 ^{ほん}
26	大阪府立市岡高等学校	^{たがみ} 田上 ^{むつ} 睦 ^ほ 歩	マイ楽器夏休み中吹き続けやっと思った最高の友
27	大阪府立狭山高等学校	^{おおくら} 大蔵 ^{わたる} 航	今はまだ体感できない青春は四十を超えて感じるだろう
28	大阪府立狭山高等学校	^{あわた} 淡田 ^{ふうか} 風花	図書室に本を求めて通う君きっかけ求め通う自分
29	大阪府立交野高等学校	^{あきまる} 秋丸 ^{ののか} 野々香	笑顔とか輝く波とか飛沫とか君にとっては海さえ味方
30	大阪府立交野高等学校	^{しのざき} 篠崎 ^{かんた} 寛太	夏祭りプールにカラオケ遊園地全てが僕の机上の空論

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (31~45)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
31	大阪府立交野高等学校	うえだ こはく 上田 琥白	サボろうかふと思う自分に腹をたてて今日もやる気をふるいたたせる
32	京都府立嵯峨野高等学校	ささかわ ひゅうが 笹川 日向	楽しみで仕様が「なかった」月曜日成長するとはこういうことか
33	羽衣学園高等学校	ひらやま はな 平山 華	雪の中遊ぶ準備はできている雪が降るかが問題である
34	大阪緑涼高等学校	なかがわ めいこ 中川 芽生子	青春の真っ只中の今だから気づけることと気づけないこと
35	大阪府立金岡高等学校	むらた あやか 村田 彩香	冷房をつけても暑いと会話して扇風機だけが首横に振る
36	大阪府立三国丘高等学校	にしはた そうま 西畑 颯真	憂鬱なバケツの中での食事中ポイにすくわれた金魚の私
37	大阪府立三国丘高等学校	にしぐち しょうた 西口 翔太	君の心君の笑顔に救われた金魚一匹すくえない僕
38	大阪府立三国丘高等学校	しもまち はやと 下町 駿斗	教室の窓辺に座るあの人とうまくいくのは夢の中だけ
39	大阪府立三国丘高等学校	もりた たもん 森田 多聞	出かけようそんな会話で日が暮れて「どこ」より「だれ」が大切と知る
40	大阪府立三国丘高等学校	たなか ゆう 田中 優	いつだってその瞬間は過去になるそうして今は今だけ生きる
41	大阪府立三国丘高等学校	かとう ゆう 加藤 由	前髪で前が見えない夏の日に共に揺れてる自分のころ
42	香川県立 善通寺第一高等学校	はら ゆうと 原 悠人	接戦のボールを投げる少年の額の汗に夏が砕ける
43	秋田県立 秋田中央高等学校	さとう ゆうみ 佐藤 由珠	CMの少女は私 帰り道アイスくわえて自転車をこぐ
44	神奈川県立光陵高等学校	いのだ りょうな 猪野田 涼奈	ベルマークそのまま捨てる僕はもう小雨みたいに優しくなれない
45	神奈川県立光陵高等学校	いけの ひろは 池野 弘葉	記録的接近ののち離されるそういう星の下に生まれた

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (46～60)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
46	長野県白馬高等学校	はやし りく 林 璃宮	「ちはやふる」途端に多くの手が伸びるみなさん映画を観たのでしょうか
47	大阪府立美原高等学校	とみなが いちか 富永 一花	通り雨相合い傘の帰り道肩の隙間に静けさ通る
48	京都府立南丹高等学校	ふじかわ りづき 藤川 凜月	ケンカしておはようもない今日の朝お弁当には気をつけての紙
49	北九州工業高等専門学校	くわもと かなで 桑本 奏	さよならの声にまたねと返事するまた会おうと言う勇気はないから
50	大阪府立鳳高等学校	やました みわ 山下 実和	個々の音一度ばらして組み立てて大きくて丸い一つの音へ
51	大阪府立鳳高等学校	やまおか りん 山岡 凜	矢印は私の方に向いてないゼロベクトルで解はなしかな
52	大阪府立鳳高等学校	にしむら みひろ 西村 心優	立ち止まりカメラを向けたその先はひまわり越しに見える夕焼け
53	大阪府立鳳高等学校	かねまる ま ひろ 金丸 眞廣	僕たちはちゃんと見ながら生きている今を見ながら未来を見ながら
54	東京都立町田高等学校	まくた ゆきまる 幕田 雪丸	宿題があと一つだけ終わらない君を花火に誘うことだけ
55	柳井学園高等学校	もりた かおるこ 守田 薫子	ガヤガヤとさわがしいなと思ったら先生登場ぴたっと静か
56	柳井学園高等学校	いしだ ふうか 石田 楓華	恩師から「ひとりじゃないよ」グッときた一人で頑張る必要はないよ
57	学習院女子高等科	まるやま めぐみ 丸山 恵生	包丁を使わず指で剥けちゃうの毎年届く祖母からの桃
58	学習院女子高等科	いとう も え 伊藤 萌絵	ひゆるると火の玉の鳴くこえのあと夜空に爆ぜて花火は死んだ
59	愛知県立佐屋高等学校	ふじうち もも え 藤内 桃恵	青春の今だからこそ気づく事青すぎるから気づけない事
60	大阪府立大塚高等学校	かみたに あおい 上谷 葵	君宛てにはなった言葉落下して二人の間静けさ残る

第4回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (61～68)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
61	堺市立堺高等学校	きむら えいしん 木村 瑛心	嫌われるそんなことは気にするな恐れるべきは一人でいること
62	大阪府立千里高等学校	たけうち まさはる 竹内 大晴	午前二時 ^{かなた} 彼方の川の輝きに負けじと光る我ら夏の夜
63	大阪府立千里高等学校	こくぼ しょうご 小久保 匠吾	波の音鳥の鳴き声風の音まぶたの裏で感じる琵琶湖
64	京都府立宮津天橋 高等学校加悦谷学舎	いのうえ すず 井上 涼	帰り道夕日をまとう影二つ弾む会話で明日が色づく
65	京都府立宮津天橋 高等学校加悦谷学舎	ますやま なつこ 栴山 菜津子	文化祭手間ひまかけた衣装たち資源ゴミ化は一時間弱
66	四天王寺高等学校	まきの せい か 牧野 聖華	生物の資料集にのめり込み気づけばオタク化38時間
67	清風高等学校	さかぐち のぶき 阪口 慶樹	奮い立て泰山木の花のごと僕の未来はきっと明るい
68	東海高等学校	まつい こうしろう 松井 宏志郎	もどかしい気持ちを詠んでみたいけど身体のどこにも言葉はなくて